



風っ子・環境キャンペーン

みなかみ町

「いけばな」で 校内を生き生きと

みなかみ町立桃野小学校

みなかみ町立桃野小学校（月夜野）は、生き生きとした雰囲気にも包まれた素敵な学校。校庭では、たくさんの花

が迎え入れてくれます。手入れをされているのは、児童運営委員会と飼育・環境委員会の児童たち。地域ボランティアの



校内に飾る花を持つ飼育環境委員。花が少ない季節は、児童や先生や用務員さんが、自宅から花を持ってきて協力してくれます

協力で球根や花苗を植え、心をこめて育てているのだそうです。生き生きとした雰囲気は、校内でも感じ取れます。その秘密は、所々に飾られた花々にあります。「花瓶に花を活着て校内に飾る日」の毎週月曜日、飼育・環境委員会が新しい花をかざっているのです。朝7時50分。委員会の8人が登校すると、踊り場や廊下、玄関や教室前など校内8カ所に飾られた花と花瓶を回収。花切りばさみを持って校庭へ出ると、花瓶に生ける花を選びます。この季節は、色あざやかなルピナスやおしゃれな紫サルビアなど洋風な花のほか、しっとりとしたアヤメやボタンなど和風の花もあってにぎやかです。委員たちは花の色合いや種類、花瓶との相性を考えながら花を選んで見栄えよく生けると、再び決まった場所に飾りにいきます。



組み合わせはこれでいいかな？ 考えながら花を選びます

ります。階段をかけ足で降りてきたり、廊下を走ったりする児童はいません。委員長の高橋涼さん（6年）は「自分で花を組み合わせるのが楽しい。先生や友だちに『今日の花、いいね』と言われるとうれしくなります」と話します。きれいな環境から、良い習慣や優しい心が育ちます。

風っ子・環境キャンペーンを応援します

みなかみ町立桃野小学校

馬場英行校長 165人
利根郡みなかみ町月夜野583
TEL:0278-62-2416
創立/1874(明治7)年
<http://www.edu.town.minakami.gunma.jp/~momono-es/>

ユネスコエコパークの登録をきっかけに、今まで以上に環境教育に力を入れていきます。ホテルの学習、カワナナの飼育は変わらずに続け、きれいな環境を守っていきます。



お花を飾る習慣っていいな

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」許諾第29-110989号

身近にできるエコ活動

食べ物は残さず食べよう

家での食事や学校での給食を最後まで食べきるようにすると、残したものがゴミにならないし、食べられるものを捨てないことになるのもったいなくありません。そして食べきることは、何よりも食事を作ってくれた人への感謝にもなります。食べる時は食べられる分をきちんと食べきるようにしましょう。

群馬県環境アドバイザー 須永徹